

電子くじでの落札者決定方法

開札の結果、落札となるべき金額の入札が複数あった場合、入札参加者が入札書提出時にあらかじめ入力した3桁の「くじ入力番号」により、落札者を決定します。

1 電子くじでの落札者決定方法

- ① 入札書提出時に任意の3桁の「くじ入力番号」を入力します。
(紙入札業者も入札書にくじ番号を記載することになります。)
- ② 開札の結果、落札となるべき金額の入札が複数あった場合、入札書到着順に、0, 1, 2・・・と同札者に順番をつけます。
- ③ 同札者の「くじ入力番号」をすべて加算し、同札者数で除算し、余りの数字に一致する順番の者が落札者となります。

2 落札者となるべき金額の入札が4者の場合の例

くじ番号の合計 $777 + 888 + 566 + 000 + 111 = 2342$

$2342 \div 5 = 468$ 余り2

番号	業者名称	くじ入力 番号 (a)	乱数 (b)	くじ番号 (a+b)*	入札書 提出日時	応札 順序	結果
1	A業者	777	000	777	H25.3.8 10:22	1	
2	B業者	888	000	888	H25.3.8 10:46	4	
3	C業者	566	000	566	H25.3.8 10:45	3	
4	D業者	000	000	000	H25.3.8 10:20	0	
5	E業者	111	000	111	H25.3.8 10:31	2	落札者

*くじ入力番号(a)に乱数(b)を加算した下3桁がくじ番号となります。

上記の場合は、同札者の「くじ入力番号」をすべて加算し同札者数で除算した余りの数字が2となるため、応札順序2の「E業者」が落札者となります。